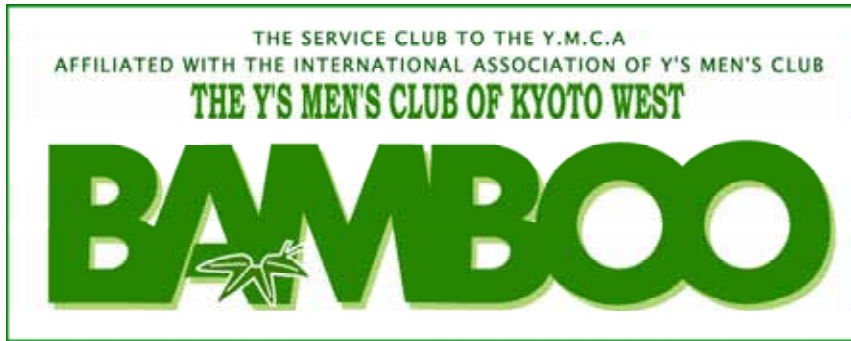




CLUB OFFICE
京都 YMCA 国際専門学校
〒602-0033
上京区烏丸今出川下ル
TEL (075) 432-3191
FAX (075) 432-9440



2

No.324

2007年2月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標 語

国際会長	"Active Participation with Love" 「愛をもって 積極参加」
アジア会長	"Partipation and Inspiration" 「参画、そして感動を！」
西日本区理事	"One for all, all for one" 「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」
京都部部长	「百花繚乱 - 京都部 - 」

西日本区強化月間

T O F . C S . F F

今月の聖句

ヨハネは、「下着を二枚持っている者は、一枚も持たない者に分けてやれ。食べ物を持っている者も同じようにせよ」と答えた。
(ルカによる福音書第3章 11節)

ク ラ ブ
会 長 標 語

Heart Sharing

会 長 河合久美子
副会長 桂 厚子 岩本 敬子
書 記 牧野万里子 星野 淑子
会 計 大西 光子 金澤 典子

『トライアングルの企画中』

交流委員長 野田泰伸



早今期も半期が過ぎましたが、交流委員会では、IBC 締結をしております。台湾は台北ダウンタウンクラブ、韓国は鐘路クラブからメンバー来日して行われる、トライアングル交流会のスケジュールを企画中です。交流委員会、特に IBC では、まず言葉の壁を乗り越えない

と務まりません。両クラブの意向を聞くために電話やメールでのやりとりに四苦八苦です。自分の語学では、文章にもならず、おそらく意味が通じないと思います。翻訳ソフトという便利なツールがあり、メールや手紙を送ることができ、情報交換はできるようになりました。また、かじりさしで忘れていた英会話レッスンのCDを聞いたり、一方では、韓国語の勉強もしています。すぐに頭の切れ替えができないのは年齢のせい、英語と韓国語が入り乱れております。本番の交流会が思いやられます。

予想を上回る約 50 名にも達するメンバーが来日されるの為、ホストクラブのウエストクラブでは、おもてなしをする為に入念な計画が進んでおります。そして、4泊5日という

長い日程の為、内容の充実とともに、体力づくりも必要です。

1月7日に台北ダウンタウンクラブ、CHEN 氏ご夫妻が、来日され、森田ワイズ、牧野ワイズ、岩本ワイズとともに、交流会の打ち合わせをしました。長年、交流委員長を務められた森田ワイズは、さすが英語で会話をされてました。委員会の中でも交流委員会は万年委員長になりがちだと言われますが、その意味が良くわかります。おそらく私も交流委員長を抜けれられないように感じます。IBC では、委員会とは関係なくクラブの窓口になるメンバーを決めておけば、委員長が代わっても、情報が伝わると思います。

このような国際的な交流を通じて思うことは、私たちと同様に、他国でも活動されている姿を見ることにより、刺激になり私たちの活動の必要性を感じ、そして、この輪を広げることにパワーにつながれば、開催の意義があると思います。また、この交流を通じて異文化とふれあい、親睦から友情が生まれ、必然的に語学を学ぶことは、自分自身にとって目に見えない財産になると思います。

この交流会では、特にメネットの力も必要になりますが、コメントも参加すれば貴重な体験になりますので、是非一緒に楽しみましょう。

1月在籍者		例会出席率		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
会員	26名	第一例会	15名	第二例会	18名	切手	0pt	第一例会	ネットファンド
広義・功労会員	0名	メネット	1名		2名 (メイキャップ含む)	現金	0pt	第二例会	0円
		コメット	0名		0名			8,000円	
		ビジター	0名	前月出席率	0名	累計			ファンド
		ゲスト	0名	修正	0名	切手	0pt	累計108,400円	年間合計
合計	26名	計	16名	20名	なし	現金	0pt		

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕

3 クラブ合同新年例会

2007年1月13日(土)

書記 金澤 典子

受付で席番号を選び3階へ。なんか温泉に来たみたいなの雰囲気でした。

会場は和室で横長いテーブルが二列。私の番号は2番。かなり上座で恐縮しましたが前の席に高山ワイズ。少しほっとしました。

なにやら床の間の辺で良い匂い? 聞くとゲームの抽選で福男と福娘に丹波産松茸と森伊蔵が当たるらしい。楽しみ!

今回のホスト、みやびクラブの会長のご挨拶で始まりました。

各クラブのアピールとニコニコではダンスパーティーをしっかりと宣伝しました。

お食事はお鍋のコース。お酒もどんどん出てきて場も盛り上がります。いよいよ抽選! なんと福娘は河合会長。福男は笹山ワイズの代理高野ワイズ。ウエスト独占。上座でお二人並んでご相伴。すごく美味しそうでした。

そしてジャグリングの大道芸。風船や輪を使ったり箱を空中で並べ替えたりと楽しませてくれました。あっという間に時間が過ぎ最後は河合会長のご挨拶。とってもしつこい楽しい新年例会でした。たまには和も良いものだなあ思いました。今回ホストしてくださった、みやびクラブの皆様本当に有り難うございました。

京都部CSチャリティーボーリング大会

2007年1月21日(日)しょうざんボウル

ドライバー委員長 立山 隆一

1月21日14:30分から恒例の京都部CSチャリティーボーリング大会がしょうざんボウルで京都部の各クラブ及び支援している施設・団体から211名の参加者を集め盛大に開催されました。

今回ウエストクラブは大会ホストを受け準備のため11:00に集合、中原PT副委員長からタイムスケジュールと役割分担の説明があり、その後昼食をとり準備開始。13:30分より受付が始まり続々と参加者が来場、少しメンバー変更で想定外の事もありましたが、そこは中原ワイズの事前準備のおかげで無事に受付を終え、14:30分より開会式、中村実行委員長の挨拶、大槻京都部部長の挨拶の後、野田競技委員長から競技の説明があり、各人の練習投球そして、大槻京都部部長始球の後、競技開始、ウエストクラブはこの間CS募金を募ったり、レーン状況の見回り役にそして約1時間で無事競技が終了。

その後一発逆転か沈没かを賭けてのアトラクションが山下ワイズの司会で大変盛り上がる中で行はれ狙っていたとおりの結果になったように思います。

そして、集計も終わり表彰式へと移り、団体優勝は京都トップスクラブさんでした。

また、各主査さんからも景品が提供され抽選で参加者に手渡されました。そして、今日CSチャリ

ティーボーリングで集まったCS献金200,085円(内当日募金54,444円)を京都部加藤地域奉仕主査から京都YMCAさんへ手渡されました。そして閉会の挨拶を京都部加藤地域奉仕主査からいただき無事終了となりました。

多少の反省点はありましたが、みんなに喜んでいただき大成功だと思います。

長い間この日のためにご苦労いただきましたPT委員長並びにPT委員の皆さん並びに今日お手伝いいただいたメンバーの皆さんご苦労様でした。



今大会のホスト一同

1月第2例会

2007年1月25日(木)リーガロイヤルホテル

書記 星野 淑子

1月25日 久々にウエストクラブのホームグラウンドであるリーガロイヤルホテルで例会が行われました 定刻7時 やさしい口調の大西ワイズの司会で始まります

河合会長の挨拶では 今期3つの目玉であるうちの100人広報例会 CSボーリング大会のホストは大成功に終わり 残す6月のIBCも打ち合わせが数回もたれ 全員で取り組んでいく方向で準備がすすんでいるという報告がありました

さて 今日の例会は総会と森田ワイズのメンバースピーチです

総会は河合会長の司会になり 選考委員会にて推薦された次々期会長に山下ワイズが承認されました 次期会長岩本ワイズは 頭のなかにはすでに次期の構想が出来上がっていることを熱く語られ 次期三役は信頼できる強力なメンバーを揃えて 副会長に山下ワイズ 書記に牧野ワイズ 島田ワイズ 会計に中原ワイズを選任するという満場一致で承認されました

会計中間報告は12月31日までの上半期の報告で まだ入金や報告を受けていない分があるが 100人広報例会 ポテトファンドの報告は次回するということで承認されました

森田ワイズのメンバースピーチは1997年8月から1998年6月までのあいだ8回

にわたって掲載された「京都ウエスト温故知新」を第部として 2007年1月から6回にわたって掲載される「第部 なぜ、また温故知新なのか?」を学ぶにあたって 第部が掲載された次時期にまだ入会していない会員が多いため きょ

うはそれを説明を加えながら読んでいただきました。2年半後に創立30周年を迎えるにあたってクラブのあるべき姿を会員全体で作りに上げていくために親クラブ京都パレス創立から京都ウエストクラブ誕生までの歴史を知り考えるヒントを得て夫々がクラブのあるべき姿を作り上げていくことの大切さを感じました。今日欠席の人のために中原ワイズがビデオを撮っておられます。50分という限られた時間の中で盛りだくさんのお話をしていただきありがとうございました。

出席者 メン 17名 メネット 2名

新連載コラム 森田ワイズの

『京都ウエスト温故知新(第二部)』

その巻

なぜ、また温故知新なのか？

なぜ、また温故知新なのか？という素朴な疑問に答えることから始めようと思います。

1997年7月に、それまで70年の歴史を築いていた日本区が、東西両区に分かれ、それぞれが良きライバルとして互いに切磋琢磨し競い合っただけでワイズの発展に尽くそう、との願いを込めてスタートしたにも拘わらず、その願いもむなしくこの10年間に西日本区の会員数は、2006年6月末現在1650名と約300名も減少しています。西日本区内9部の中でも健闘している西日本区最大の京都部といえども3クラブの誕生がありながらも最近では平均450名、京都ウエストは平均26名の維持に終始しており、会員増加への好転の兆しが見えません。

こうした西日本区における会員減少や会員増強の不振の原因は、折柄のバブル経済崩壊による不況の長期化が主因という声をよく耳にしますが、私は果たしてそれだけが原因なのか？それよりも、もう駄目なんだと思い込んで気弱くなっているからではないかという疑問を禁じえないのです。

日本区役員会では常に会員減少の危機感を訴えてきましたが、その成果は現れず、部・クラブ内においても、会員同士が会員増強問題を真剣に語り合う場さえ見当たりません。

会員減少の影響は、ワイズのすべての事業活動や財政面にも莫大な影響を及ぼします。すべての基盤は、「良質×多量=大きさ+強さ」という私が主張しつづけている会員増強の公式実現にかかっているのです。

京都ウエストは2年半後には創立30周年という大きな節目を迎えますが、クラブというものは有限生命の会員が組織化され、新陳代謝を重ねながらの健全運営が維持されれば無限の生命が約束されるのです。クラブシンボルのBAMBOOのように一節一節の貴重な区切りを大切に、それを目標としたクラブのあるべき姿を皆で協力して成長計画を推進せねばなりません。

そのためにはクラブの質的充実と量的拡大が必要不可欠であり、ワイズの本質にふれる学習を深め活力ある行動力を養うことが重要になってきま

す。そして私はクラブ創立以来最優秀クラブ賞をはじめ数々の大きな表彰の常連受賞クラブとして、部の成長への刺激を与えることに貢献することの大きかったかつての京都ウエストが、再び活力を得て京都部拡大に寄与できればという少々欲張った願いをも抱いているのです。

今回「京都ウエストの温故知新 第 部(その1)」と続けて企画する「ワイズ温泉どっぷり論 改訂版」は厚かましき事ながらも、会員増強への動機づけとしての学習教材の一部としていただければとの思いで胸一杯であります。皆さんのお役に立ててこそ、長丁場が予想される執筆にも力が入ろうというものです。

クラブ創立20周年を迎える折にも、新ビジョン作りに役立つことを願って「温故知新」の連載をはじめたいとの思いを述べており、10年を経た今回の思いと全く重なることに気付いています。ということは、第 部の執筆に当ってはこの10年間の十分な反省をこめて臨むべきであり、5年毎発行の記念誌とプリテンを頼りとして、出来る限り正しく広い視野で執筆するつもりですが、非力さゆえの書きもれや誤りが生じるかも知りません。その節には忌憚のない批判やご意見をお寄せくださることを願っています。

皆さんの温かい友情とご支援を願いつつ第1話を終わります。

1月役員会議案報告

議案	内容	結果
議案 1	安川洋子ワイズ 11月末日をもって退会とする。	承認
議案 2	3クラブ合同新年例会の登録費をメネット、ゲスト5,000円、コメント(中学生以上)3,000円とする。	承認

今月の聖句の解説

by 辻中連絡主事

ヨハネが群衆たちに語った隣人愛の教えには、二つの面があります。

一つは、一枚の着物や一人分の食料しか持っていない人に、自分の分をゼロにして何も持たない人に分けてやれと言っているのではなく、ヨハネが教えた隣人愛の原則とは、二枚の下着のうち一枚をあげなさいという日常的に実行可能な内容です。

もう一つは自分が予備として持っている下着や食料を無償で他の人に分け与える、という自己犠牲を要求していることであります。下着を二枚持っている者が一枚も持たない者に分けてやると、自分の分は一枚しか残りません。予備を持たなくなるといえるのは、必要なときには神様がまた私たちに与えてくださるということです。

環境ファンド商品販売報告

ウイスキー古樽をリユースした環境ファンド商第一弾「雨水樽」を高山ワイズに御買上頂きました。ありがとうございます！

2月 Schedule

1月29日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA
2月1日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
2月8日	(木)	第二例会(T OF例会)	19:00~	今出川 YMCA
2月22日	(木)	第二例会(通 常例会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル
1月29日	(月)	三役会	19:00~	今出川 YMCA

3月 予定抄

2月26日	(月)	三役会	19:00~	今出川Y MCA
3月1日	(木)	役員会	19:30~	リーガロイ ヤルホテル
3月8日	(木)	第一例会(環 境例会)	19:00~	今出川Y MCA
3月22日	(木)	第二例会(通 常例会、総会)	19:00~	リーガロイ ヤルホテル

2月 Happy Birthday

	メン	メネット
	桂 厚子	桂 五郎

2月 Happy Anniversary

	笹山信泰・澄江	星野淑子・征光
	辻中康広・博子	
	安平知史・春美	

2月 他クラブ例会案内

	第一例会		第二例会	
	日程	場所	日程	場所
パレス	14日	ブライトン	28日	ブライトン
洛中	8日	全日空	22日	三条YMCA
みやび	7日	三条YMCA	21日	セントノーム

YMCA News

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて。

スイミングスクール 幼児・少年体育活動

2月21日(水)午前10時より 電話 075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ

2月21日(水)午前10時より 電話 075-231-4388

2. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。

春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。

コース名	対象	日程	行き先
リトルキッズスキー春	小学1~2年	3/26朝~30朝	志賀高原
小学生スキー春	小学3~4年	3/26朝~30朝	志賀高原
中高生スキー春	中学1~高3	3/25夜~31朝	野沢温泉
チャレンジスキー春	小学4~高3	3/25夜~31朝	野沢温泉

チャレンジスキーは緩斜面での確実なパラレル操作が出来る方 中・上級者向き

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中

カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)、日程 2007年3月29日(木)~4月2日(月)4泊5日、対象 小学校2年生~高校3年生、費用 54,000円(会員以外の方は申し込み時にシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

4. 2006年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈るとともに祝いたいと思います。日時 3月11日(日)午後、場所 京都YMCA三条本館マナホール

5. 創立118年会員集会

日時 2007年2月23日(金) 午後7時~9時
場所 三条本館 マナホール、内容 近未来の京都YMCA~公益法人制度が変わります~、対象 維持会員・正会員

6. 春スイミング・デイキャンププログラムご案内

A・B・Cとも受付 会員とその兄弟 2月2日(金) 午前10時~、会員・一般 2月2日(金)午後2時~

A. 春休みスイミングスクール

期間:3月25日(日)~30日(金)6日間 対象:新年中・新年長(平成13年4月2日~平成15年4月1日生)、新小・中学生 場所:京都YMCAウエルネスセンター三条 室内温水プール、費用8,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

B. デイキャンプ 日帰り連続4日間

幼児フレンドシップ 期間3月26日(月)~29日(木)午前9時30分~午後4時30分、対象 新年中・年長(平成13年4月2日~平成15年4月1日生)、費用28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

小学生フレンドシップ 期間:3月26日(月)~29日(木)午前9時~午後5時、対象 新小学1~3年生、費用28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

C. 鉄棒・とび箱が好きになる教室

対象 A・Bクラス 新小学1~6年生(定員25名) C・Dクラス 新幼児年中~小学3年生(定員25名)、日時3月25~29日5日間、Aクラス午前9時~10時10分、Bクラス 午前10時25分~11時35分、Cクラス 午後1時~2時10分、Dクラス 午後2時25分~3時35分、場所 京都YMCA今出川センター体育館(上京区烏丸今出川下ル西入ル)、費用10,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

1~5に関するお問い合わせ・お申込みは

電話(075)231-4388

1、6に関するお問い合わせ・お申込みは電話(075)255-4709

編集後記 プリテン委員長 立山 隆一

2月号より森田ワイズの温故知新第2部の連載を開始いたしました。ウエストクラブの歩みを知る為に是非読んで下さい。

2007年1月号より当クラブのプリテン(紙面版)はグリーン商品リスト掲載品・FSC承認パルプを使用しています。また製本は(社)京都手をつなぐ育成会 山科共同作業所(知的障害者自立支援センター)に委託しています。